

令和 2 年度

決 算 報 告 書

第 1 7 期事業年度

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

国立大学法人 高知大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人高知大学
(単位：百万円)

区 分	予算額 (年度計画)	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収 入				
運営費交付金	9,853	10,237	384	(注1)
うち補正予算による追加	-	26	26	
施設整備費補助金	1,383	1,347	△ 37	(注2)
補助金等収入	380	1,156	775	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	37	42	5	
自己収入	23,005	22,442	△ 563	
授業料、入学科及び検定料収入	2,976	2,909	△ 66	(注4)
附属病院収入	19,536	18,886	△ 649	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	494	646	153	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,630	1,467	△ 162	(注7)
引当金取崩	264	242	△ 21	
長期借入金収入	378	259	△ 119	(注8)
目的積立金取崩	38	22	△ 16	(注9)
計	36,969	37,215	246	
支 出				
業 務 費	32,125	30,870	△ 1,255	(注10)
教育研究経費	13,137	12,913	△ 224	
診療経費	18,988	17,957	△ 1,031	
施設整備費	1,799	1,648	△ 151	(注11)
補助金等	380	910	529	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,630	1,315	△ 314	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,035	1,023	△ 12	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	36,969	35,766	△ 1,203	
収入－支出	-	1,449	1,449	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費等が措置されたことにより、予算額に比して決算額が384百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予定していた事業の一部が繰越となったことにより、予算額に比して決算額が37百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった新型コロナウイルス感染症対策等の補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が775百万円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金245百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等免除の増加等により予算額に比して決算額が66百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による外来患者数の減少に伴う外来診療収入の減少等により、予算額に比して決算額が649百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料等の収入増加等により、予算額に比して決算額が153百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、新型コロナウイルス感染症の影響により受託事業収入が減少したこと等により、予算額に比して決算額が162百万円少額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した5百万円を含めて計上しています。
- (注8) 長期借入金収入については、予定していた事業の一部が繰越となったことにより、予算額に比して決算額が119百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していた取崩を行わなかったため、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、(注5)の理由及び一部の事業を翌年度に繰り越したこと、経費の削減に努めたこと等により予算額に比して決算額が1,225百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)及び(注8)の理由により、予算額に比して決算額が151百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)の理由により、予算額に比して決算額が529百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)の理由及び一部の事業を翌年度に繰り越したことにより、予算に比して決算額が314百万円少額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した5百万円を含めて計上しています。